

経営比較分析表

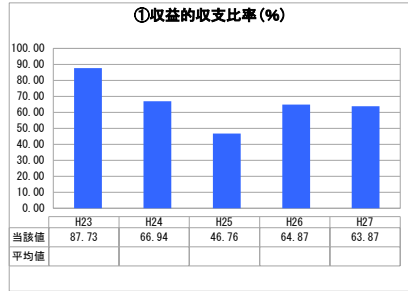
宮城県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	37.31	87.90

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,185	74.95	336.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,352	3.03	3,086.47

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



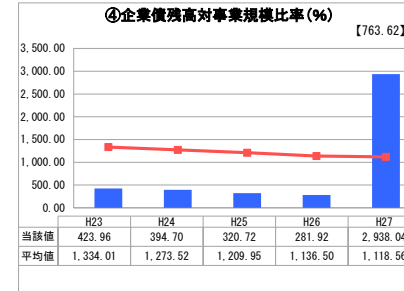
「単年度の収支」



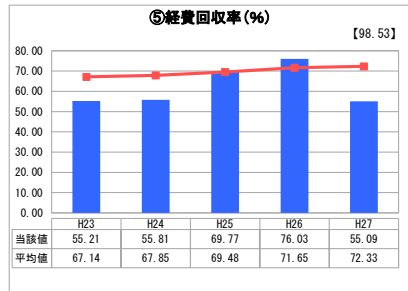
「累積欠損」



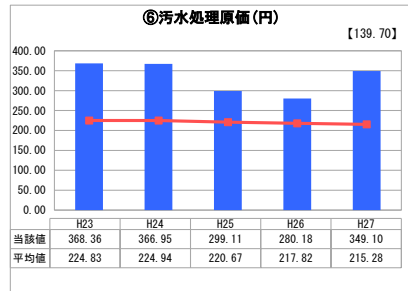
「支払能力」



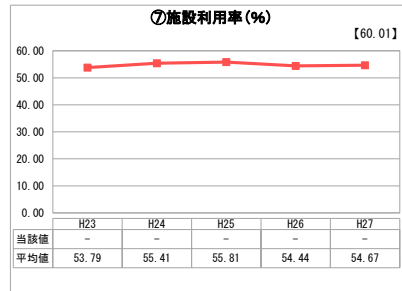
「債務残高」



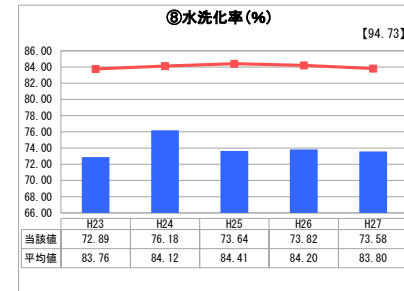
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

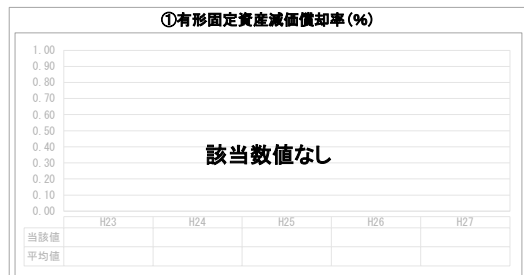


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

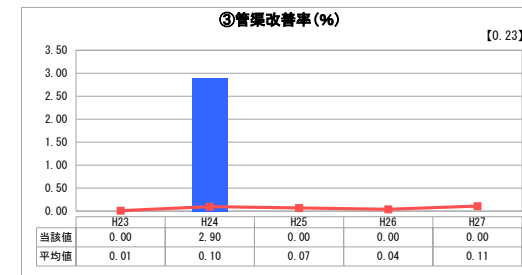
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率について
100%を下回っている。これは、地方債償還金の財源のうち、一般会計繰入金の一部及び資本費平準化債等を資本的収入として計上しているためである。
- ④企業債残高対事業規模比率について
平成27年度は急増している。これは、地方債現在高合計から控除する一般会計負担金を地方公営企業法施行規則第21条第3項にかかるもののみと変更したため、急増したものである。
- ⑤経費回収率について
平成27年度は減少している。これは、平成28年度からの地方公営企業法適用に伴い、打ち切り決算となったため、平成28年3月分の使用料が決算に含まれなかったため、減少したものである。
- ⑥汚水処理原価について
平成27年度は増加している。これは、平成28年度からの地方公営企業法適用に伴う準備経費の支出があったため、増加したものである。
- ⑧水洗化率について
類似団体の平均値を下回っている。これは、污水管きよの整備途上であり、処理区域面積が年々拡大しているため、比率が伸びにくい状況である。今までの水洗化率の推移及び整備予定等を踏まえると、類似団体の平均値に到達するのは概ね平成42年度ごろと思われる。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率について
管渠の改善は東日本大震災によるものを除き、実施していない。しかし、供用開始から20年を経過しているため、マンホールポンプ等の更新を順次実施しなければならない。

全体総括

短期的な課題としては、水洗化率の向上が挙げられる。水洗化率を向上させることが、料金収入の向上に繋がり、経費回収率等の他の指標の改善も期待できる。
中長期的な課題としては、污水管きよ整備の完了が挙げられる。整備途上であり早期完成させ、より多くの住民に利用してもらえる環境を作らなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。